

1. 改定の目的

国及び県の男女共同参画基本計画の改定や新型コロナの感染拡大など社会情勢や課題の変化を計画に盛り込み、今後のさらなる推進を図ることを目的とする。

2. 計画期間

		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国	第5次男女共同参画基本計画			策定					
県	ふくしま男女共同参画プラン				改定				
市	郡山市まちづくり基本指針				改定				
	第三次こおりやま男女共同参画プラン					改定			

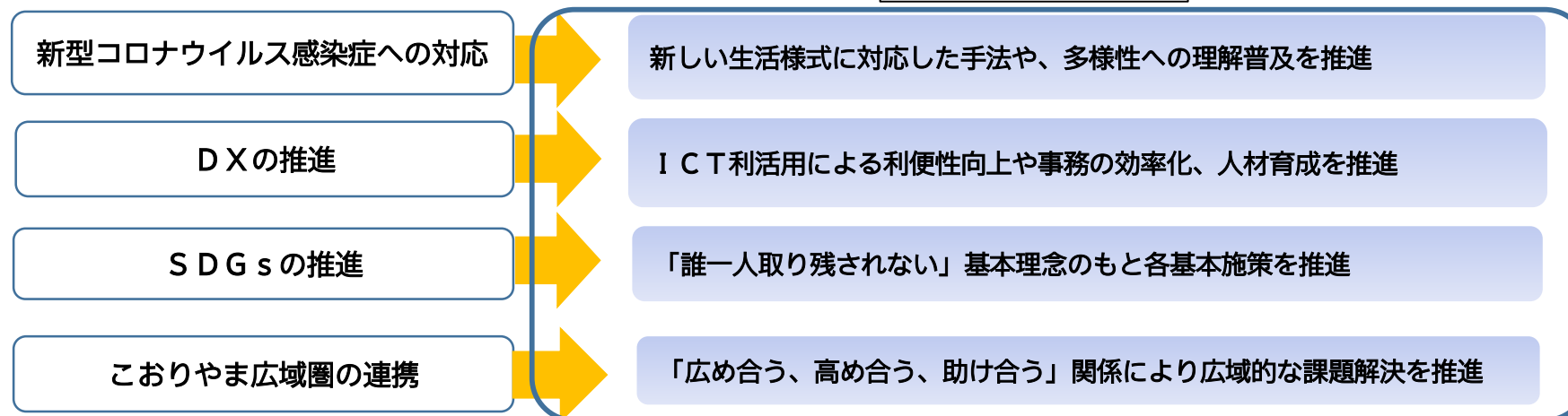
計画期間は2018年度から2025年度までの8年間。内閣府の「第5次男女共同参画基本計画」が2020年12月に策定され、福島県の「ふくしま男女共同参画プラン」も2021年12月に改定された。本市の最上位計画「郡山市まちづくり基本指針」も、2021年度に改定されたほか、2022年4月に女性デジタル人材育成プラン、2022年5月には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の成立等もあったことから、今後の推進に向けた取組方針等を修正・追加する改定を実施。

3. 見直しのポイント

【1】社会情勢の変化と本市の施策の動向の分析

計画策定時から、新型コロナウイルス感染症の拡大や気候変動による自然災害の増加、SDGs(持続可能な開発目標)やDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展など、社会状況が急激に変化していることから、以下の新たな概念を体系に盛り込み、予見可能性の高い将来課題や目標からのバックキャスト思考で施策方向性の改善や強化を図る。

バックキャスト思考

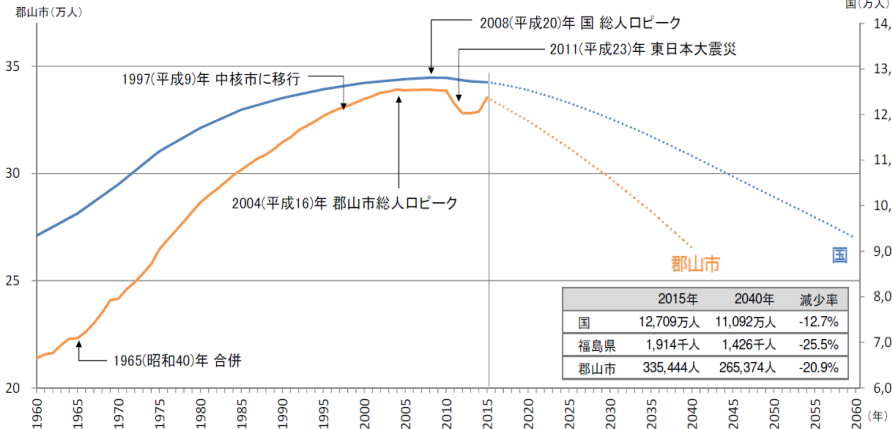


4. 計画の構成

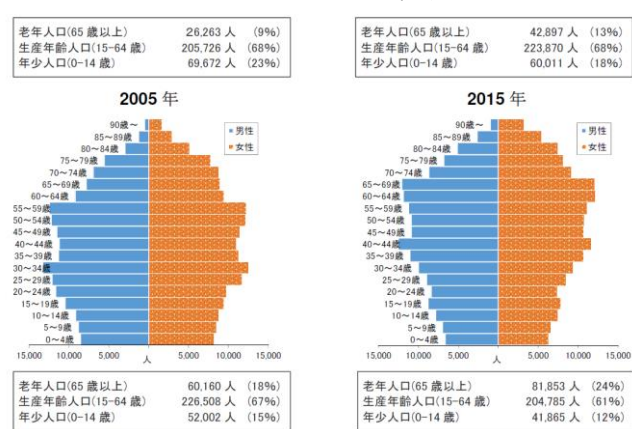
見直しを行った経緯を明らかにするため、見直し内容は計画本編の別冊を作成する。

男女共同参画を取り巻く状況

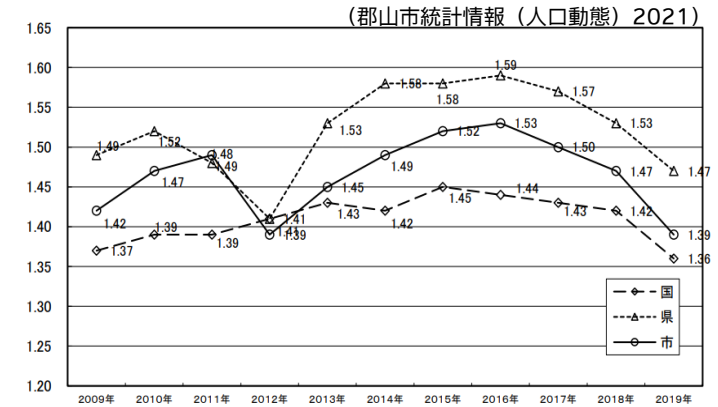
【郡山市の人口推計】(郡山市人口ビジョン2020概要版)



【本市の人口ピラミッド】(郡山市人口ビジョン2020)



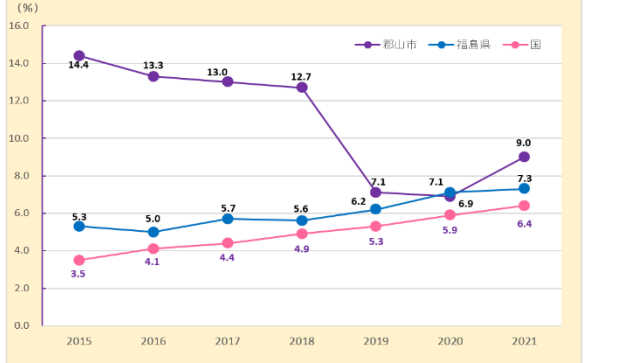
【郡山市と国、県の合計特殊出生率】(郡山市統計情報(人口動態)2021)



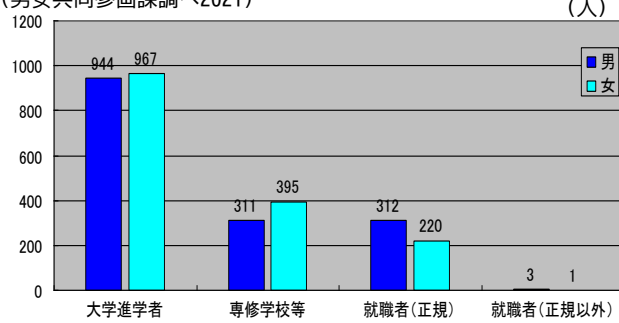
人口減少と少子高齢化 ①人口減少による地域経済規模の縮小
②地域コミュニティ等の持続可能性を脅かしている

今後は... ①性別に縛られることなく、あらゆる世代のまちづくりへの参画・活躍が必要
②ライフスタイルの多様化への対応が必要

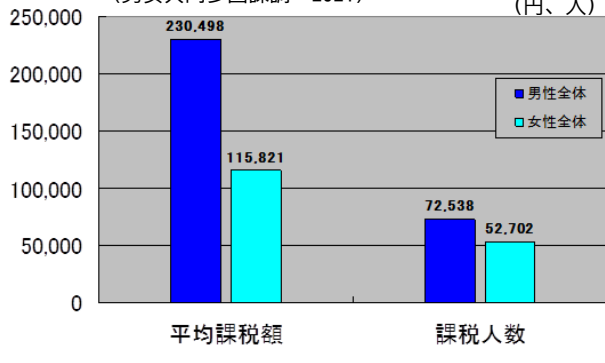
①【公務員の管理的地位にある職員に占める女性職員の割合】(課長相当職以上) (男女共同参画課調べ2022)



②【郡山市における男女別の高校卒業後の進学状況等】(男女共同参画課調べ2021)



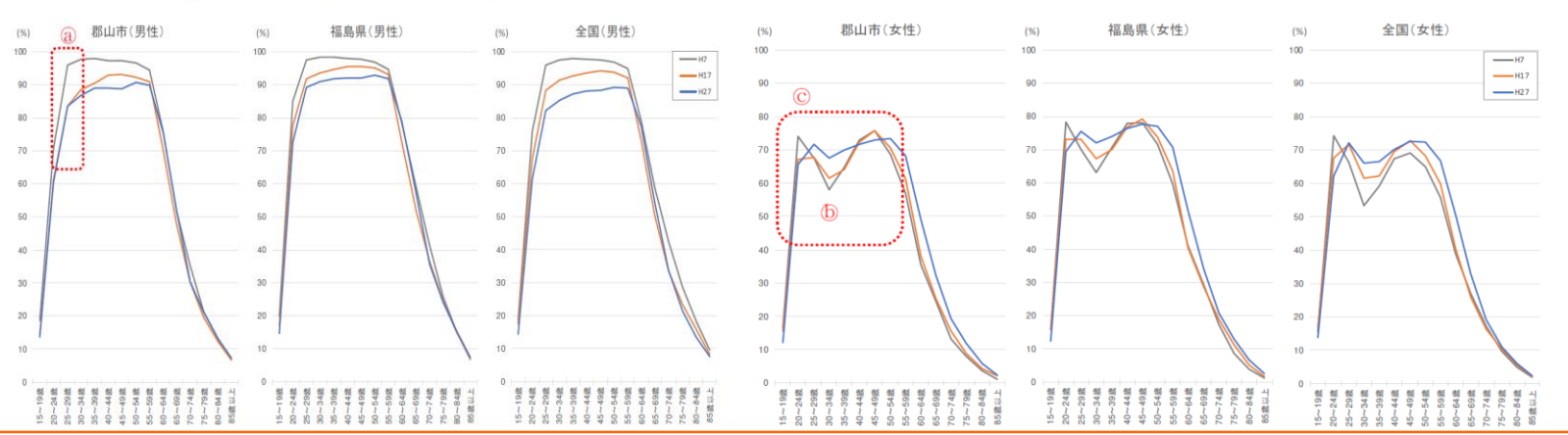
③【郡山市における男女別課税状況】(男女共同参画課調べ2021)



参考【ジェンダーギャップ指数2022】

順位	国名・地域名	男女格差指数
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.86
3	ノルウェー	0.845
4	ニュージーランド	0.841
5	スウェーデン	0.822
10	ドイツ	0.801
15	フランス	0.791
19	フィリピン	0.783
22	イギリス	0.78
25	カナダ	0.772
27	アメリカ	0.769
43	オーストラリア	0.738
92	インドネシア	0.697
99	韓国	0.689
102	中国	0.682
103	マレーシア	0.681
116	日本	0.65
124	トルコ	0.639
135	インド	0.629
146	アフガニスタン	0.435

④【女性・男性の就業状況比較 市・県・国】(郡山市人口ビジョン2020)



【参考】
②近年郡山市では福島県よりも若年性の労働力率の低下が見られます。
④郡山市の女性の労働力率は、出産・子育て期の労働力率低下(いわゆるM字カーブの谷)が深くなっています。これは、出産・子育て期に離職する人の割合が、以前から大きかったことを示しています。
④郡山市の女性の労働力率のM字カーブの谷は、この20年間で福島県及び全国平均と同様に浅くなっていますが、全年齢を通じた女性の労働力は福島県よりも低いままとなっています。

男女共同参画における本市の状況

- ①管理的地位にある女性職員の割合は国県に比べ高い水準
- ②高校卒業後の進学は女性の方が多い
- ③課税状況を見ると女性は男性の約半分と大きく差がある
- ④女性の就業率が男性より低くM字カーブも存在している

男女共同参画における本市の課題

- ・意思決定過程への女性の参画拡大の推進
- ・女性の就業支援
- ・生活上の困難を抱える女性への支援

5. 計画体系図について

【1】体系の追記

■第三次こおりやま男女共同参画プランの体系図■

①新型コロナウイルス感染症への対応やSDGsの推進など新たな概念を体系に追加



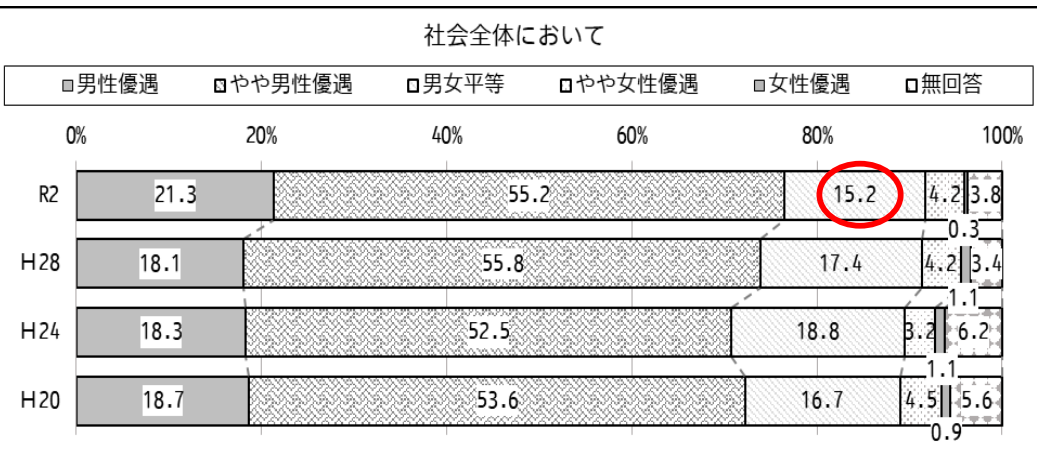
6. 見直しの概要

【1】修正・追加等

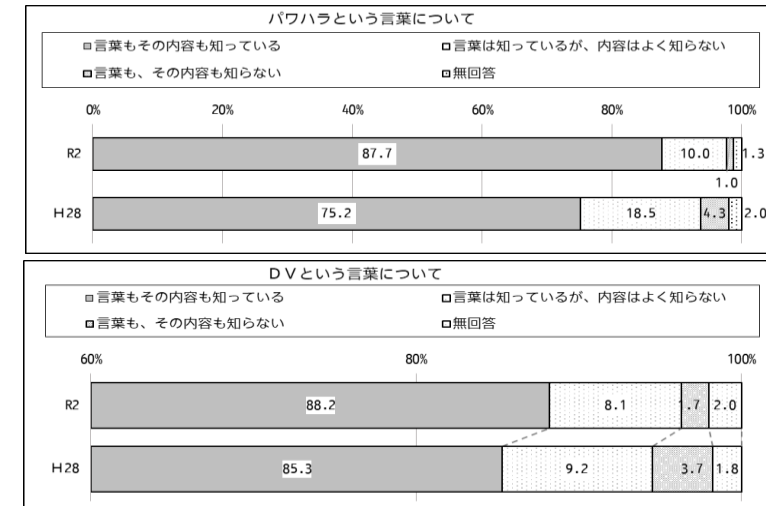
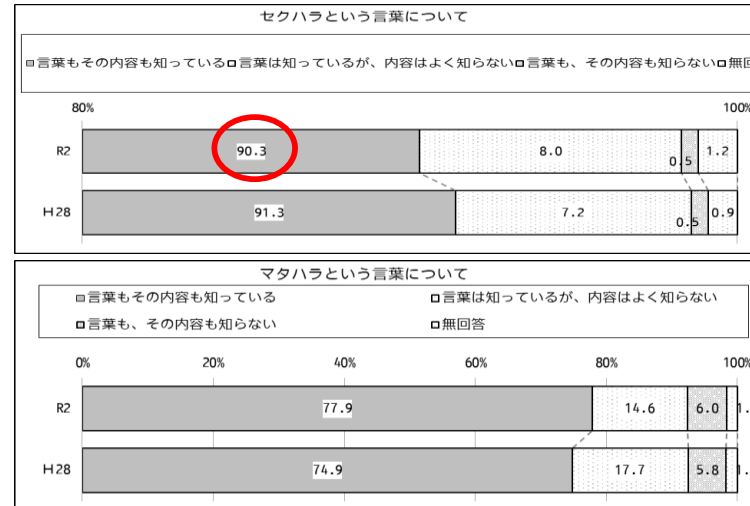
基本目標	課題	施策の方向	指標	修正・追加の内容等	別冊 ページ
1 男女平等を基本とした男女共同参画社会の実現	1 男女共同参画意識の普及・啓発	男女共同参画センター（さんかくプラザ）の拠点機能の充実	●会議室等の稼働率	施策方向本文の拠点機能の記載に 新型コロナウイルス感染症対策を追加 。	19
3 あらゆる分野における女性の活躍の促進	2 意思決定過程への女性の参画促進	(2)企業・団体・地域における男女共同参画 →企業・団体・地域における 女性の参画拡大	●審議会・委員会等の女性委員登用率 ●男女共同参画推進事業者表彰の受賞者数	国の第5次男女共同基本計画の政策と併せ、施策の方向の本文を「男女共同参画」から「 女性の参画拡大 」に修正し目的を明確化。	28
	3 女性人材の育成と多様なチャレンジへの支援	(2)活躍のための環境整備と経済的自立の促進 → DXなど 活躍のための環境整備と経済的自立の促進	●創業支援事業計画に基づく女性の支援者数 ●20～40代の女性の就業割合 ● ICT関連講座参加者の理解度	施策方向本文に「 DXなど 」を追加。 ● ICT関連講座の理解度 を指標に追加。 さんかくプラザの講座等で関連講座を実施。	29 30
5 安全・安心な暮らしの実現	2 あらゆる暴力の根絶と被害者支援	(3)暴力の未然防止・根絶に向けた正しい理解の普及 → 女性等に対する 暴力の未然防止・根絶に向けた正しい理解の普及	●DV防止に向けた広報・啓発の回数 ●DV被害を受けたことがあると答えた女性の割合	ふくしま男女共同参画参画プラン及び福島県ドメスティックバイオレンスの防止及び被害者の保護・支援のための基本計画から「 女性等に対する 」に修正し目的を明確化。	38
		(4)生活上の困難を抱える女性等の安心な暮らしへの支援 性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他様々な事情により、日常生活又は社会生活を円滑に営む上で、困難な問題を抱える女性への支援を推進します。	● 広報・意識啓発件数	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の成立に伴う制度や相談窓口等の周知啓発のため、指標追加。	38
	3 安全・安心なまちづくりの推進	(3)感染症への対策 新型コロナウイルス感染症等の拡大による社会状況の変化を受け、新しい生活様式に適應した対策を進めることで、 安全・安心な体制を整備していきます。	—	プランに新型コロナウイルス感染症に関する記載を追加。具体的な対策は、実施する事業によるため、各所属で対応としている。	39

さんかくプランの基本目標の状況 (男女共同参画に関する市民意識調査から)

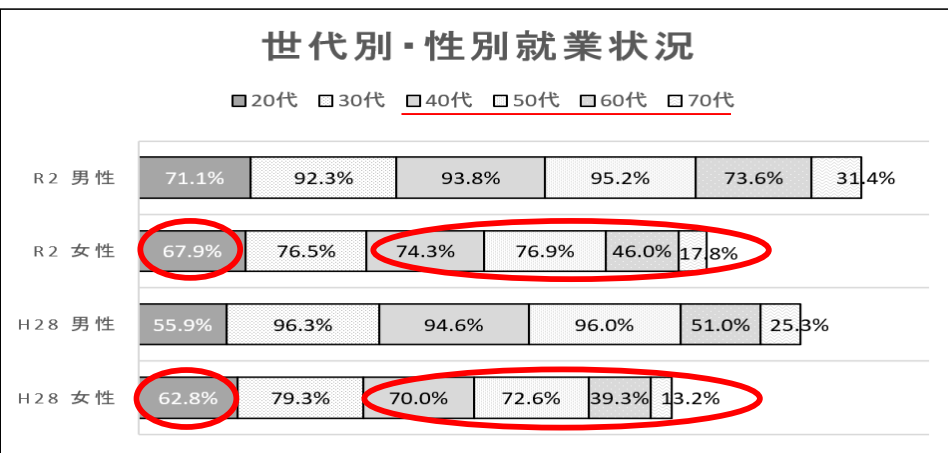
【基本目標1】 男女の地位の平等観



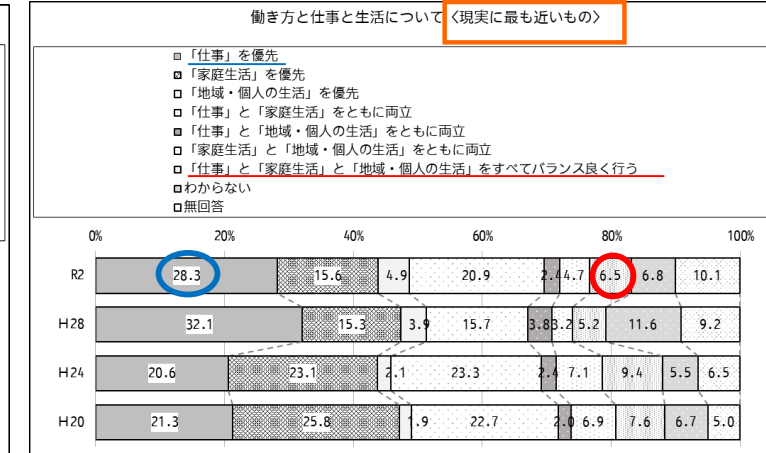
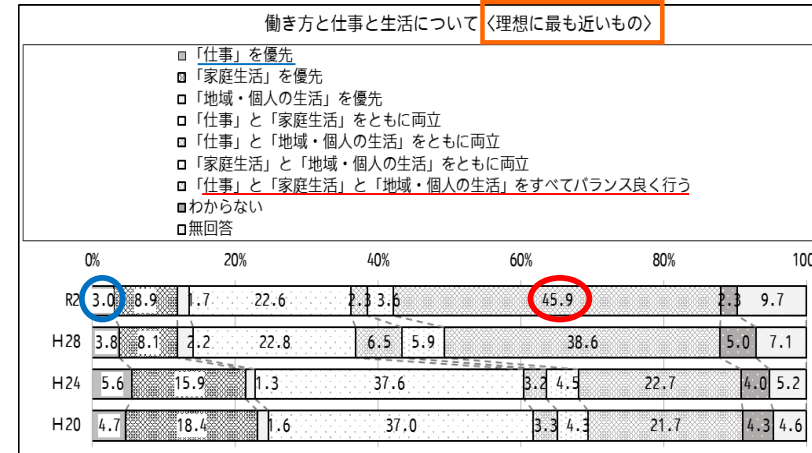
【基本目標2】 人権に関する認識について



【基本目標3】 世代別、性別の就業割合について



【基本目標4】 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進



【基本目標5】 安全・安心な暮らしの実現

